



梅雨が明け、一気に暑い夏がやってきました。7月10日に開山した富士山頂では夜になると登山者の灯す明かりがいくつも瞬いています。昨年に続き楽寿園の小浜池が満水となり、源兵衛川や桜川では湧水に足を浸す子ども達の元気な声が響き渡って、富士山の豊かな恵みに三島の街が癒されていることをしみじみと感じます。

全国的に当初の予想を超えるペースでワクチン接種の予約が進み供給不足が懸念されたことから三島市でも予約の受付を一時停止し接種体制を見直しましたが、7月15日から予約を再開しています。今後は、ワクチン供給の状況に合わせて順次予約を受付けてまいります。8月からは集団接種会場での歯科医師による接種を開始するなど接種体制の強化も図っています。7月末までに12歳以上の対象者全員に接種券を郵送しますので、大規模接種会場や職域での接種も含めて、ご自分に合った方法での接種をご検討ください。

三島市では、様々なインターネットトラブルから子ども達や保護者を守るため関係団体が連携して地域一体となって情報モラル教育に取り組んでいます。子ども達が正しい情報モラルを身に付けられるよう、夏休みの間ご家庭でも是非スマホやSNSの使い方について話し合ってみてください。

三島市長 豊岡 武士

市制80周年記念
没後40年 五所平之助監督作品上映会



五所平之助氏は昭和28年に三島に移り住み、映画監督として活躍する傍ら、市民による文化活動「三島市民サロン」での活動や文芸三島の選者を務めるなど、三島の人々とも気さくに交流しながら三島市の文化振興に多大な貢献をされました。本年が没後40年となることから、業績を次世代につなぐため、五所氏最後の監督作品「わが街三島—1977年の証言」他、2作品の上映会を開催します。改めて五所監督の作品をご覧ください、氏の偉業を偲ぶとともに、ゆっくりと映画をお楽しみいただきたいと思います。入場整理券を8月2日(月)から三島市文化振興課および三島市民文化会館で配布します。

【上映会】

日時：8月21日(土) 午後1時～5時 開場：正午

会場：三島市民文化会館 小ホール

作品：「わが街三島—1977年の証言」(昭和52年制作)

「糸あやつり人形映画 明治はるあき」(昭和43年)

「煙突の見える場所」(昭和28年)

定員：300人 入場無料(入場整理券が必要です)

- ◎ 『わが街三島—1977年の証言』は最後の監督作品であり、監督である五所平之助氏をはじめ、小出正吾氏、大岡信氏が出演しています。
- ◎ 『文芸三島』俳句部門の選者を創刊号(昭和54年)から第3号まで務められました。
- ◎ 国立映画アーカイブで「没後40年 映画監督五所平之助」と題し、監督作品が上映される予定です(10月19日～11月23日)

三島市長 〒411-0035 三島市大宮町2-14-20
豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>

トピックス みしま

◇いずっぱこ絵画展・いずっぱこ歴史新聞 作品募集

三島市、函南町、伊豆の国市、伊豆市、伊豆箱根鉄道(株)で組織する「駿豆線沿線地域活性化協議会」では、子ども達の地域への愛着を育み、地域への理解を深めるよう、「わたしの街」をテーマにした絵画と新聞の作品を募集します(対象は小学生以下)。応募者にはオリジナルグッズ詰め合わせをプレゼント。募集期間8月1日～9月23日、伊豆箱根鉄道本社、最寄りの駅などに持参。

「いずっぱこ絵画展」：テーマ「わたしの街といずっぱこ」

- ・入選作品(約70点)は、10月運行予定の「絵画展電車」の中吊り部分に掲載。優秀賞に選ばれた作品は、電車のヘッドマークと来年のポスターに使用します。
- ・入選者には、「入選者観覧乗車証」(大人1名+子ども1名:1往復有効)をプレゼント

「いずっぱこ歴史新聞」：テーマ「わたしの街の歴史」

- ・「歴史」を切り口にして沿線地域の魅力を発見し、新聞にまとめてください。時代は問いません。
- ・入選した作品は、協議会で作成するパンフレットに掲載し、駅などで配布されます。
- ・入選者には、駿豆線1日乗り放題乗車券「旅助け」(大人1枚+子ども1枚セット)をプレゼント

◇「三島市景観賞」候補の募集

市内の優れた景観の創出・再生に寄与する建築物・看板等や、景観の形成・保護を行う個人、団体の活動を対象とした「三島市景観賞」の候補を募集します。今回から「景観部門」に加え、景観に調和した屋外広告物(看板等)を対象とする「広告部門」を新設。

【選考基準】

- ・新しい景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの
- ・水や緑を活かし、自然景観を創出しているもの
- ・歴史的な景観を再生し、なつかしい景観づくりに寄与しているもの
- ・デザインや景観に対する工夫や配慮がなされ、地域に潤いとゆとりを与えるもの
- ・景観の形成に関し、一定の活動において貢献が認められる者および団体

応募：8月1日～8月31日 三島市役所都市計画課まで

◇郷土資料館「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」

三島市制80周年と郷土資料館開館50周年を記念して、企画展「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」を開催しています。三島市教育委員会と静岡県埋蔵文化財センターが所蔵する140点もの考古資料を公開し、旧石器時代から古墳時代中期までの三島市域での人々の営みを紹介しています。会期中、2名の研究者による弥生時代・古墳時代について近年の発掘調査の成果を踏まえた講演会や、体験教室も開催します。(会期：12月19日まで)

【講演会】 事前申込：郷土資料館 971-8228 (先着順)

- ①「弥生時代の三島市内の様子」(定員43名)
講師：岩本貴氏(伊豆の国市文化財課)
日時：9月18日(土)14時～16時
会場：三島市民文化会館 3階大会議室
- ②「前方後円墳と古代伊豆の原像(仮)」(定員70名)
講師：滝沢誠氏(筑波大学人文社会系)
日時：11月28日(日)14時～16時
会場：三島市民生涯学習センター 3階講義室



【郷土教室・古代の暮らし】 申込不要

火おこしや勾玉づくりの体験、土器当てクイズに挑戦!
日時：11月20日(土)10時～12時、13時～14時30分
会場：郷土資料館

◇令和3年度 みしま教養セミナー

10月8日(金)から28日(木)まで、全3回にわたり、生涯学習センターにて「みしま教養セミナー」を開講します。今年度は、「コロナと生きる—自分を守り、大切な人も守るために—」をテーマに日本大学短期大学部と順天堂大学保健看護学部の教授陣による、新型コロナウイルスの正しい知識と今後の向き合い方についての講座です。詳しくは、「広報みしま8月1日号」をご覧ください。

【事業の概要】

日時：10月8日(金)、10月21日(木)、10月28日(木)全3回
各回 午後2時～4時
会場：三島市民生涯学習センター 3階講義室
申込：8月27日(金)まで 三島市役所生涯学習課 983-0881